

RACING TYRES

SPORTMAX
GEOMAX
GP SERIES



ROAD RACE

ロードレース

SLICK

SPORTMAX SLICK / KR149 / KR151 FRONT

クラス>> J-GP3 / イベントレース / JSB1000 / ST1000 / ミニバイクレース

連続コーナーで本領発揮。
ライトウエイト・マシンのフィットワーク。



SPORTMAX SLICK / KR133 REAR

クラス>> J-GP3 / イベントレース / JSB1000 / 鈴鹿8耐 / ST1000 / ミニバイクレース

世界GPのテクノロジーを傾注した
ニュートラルな戦力。



RAIN

KR189 FRONT

クラス>> ST1000 / J-GP3 / JSB1000 / JP250

全てのクラスに対応した
パターン・プロファイルを採用。



KR389 REAR

クラス>> J-GP3 / JP250

フルからライトな
ウエットに対応する
ワイドレンジ・レーシングレイン。



KR405 REAR

クラス>> ST1000 / JSB1000

フルからライトな
ウエットに対応する
ワイドレンジ・レーシングレイン。

RAIN

SPORTMAX RAIN FRONT / REAR

クラス>> ミニバイクレース



警告 必ずお守りください。
競技専用のレーシングタイヤです。
一般公道での走行はできませんので
ご注意ください。

■ダンロップロードレース用タイヤの諸元

SLICK

クラス	用途	パターン	タイヤサイズ	商品コード	製造	コンパウンド	標準リム幅 (inch)	許容リム幅 (inch)	トレッド幅 (mm)	外径 (mm)	標準空気圧 (kPa)
SMALL	フロント	S-SLK	90/80R17	357456	JPN	SOFT	2.50	2.15 - 2.50	88	578	180
				357457		MED					
	357458	HARD									
	357459	SOFT									
	357460	MED									
リア	S-SLK	115/70R17	357461	HARD							
MIDDLE	フロント	S-SLK	110/70R17	354001	JPN	MED	3.00	2.75 - 3.50	112	593	180
	リア	S-SLK	140/70R17	354002	JPN	MED	4.00	4.00 - 4.50	143	629	180
BIG	フロント	KR149	120/70R17	338324	JPN	M3	3.50	3.50 - 3.75	120	606	200
				338325		H3					
	355988 ※	H2									
	355507	SOFT									
	355508	MED									
	355510 ▲	QF									
リア	S-SLK	200/60R17	337769 ※	S1	6.00	5.50 - 6.25	193	670	140		
	KR133	200/60R17	337770 ※	M1	6.00	5.50 - 6.25	198	665	140		

鈴鹿8耐

用途	パターン	タイヤサイズ	商品コード	製造	コンパウンド	標準リム幅 (inch)	許容リム幅 (inch)	トレッド幅 (mm)	外径 (mm)	標準空気圧 (kPa)	
SLICK	リア	KR133	200/60R17	337771 ◆※	JPN	H1	6.00	5.50 - 6.25	198	665	140

ワンメイクレース指定タイヤ (ST1000)

用途	パターン	タイヤサイズ	商品コード	製造	コンパウンド	標準リム幅 (inch)	許容リム幅 (inch)	トレッド幅 (mm)	外径 (mm)	標準空気圧 (kPa)	
SLICK	フロント	KR149	120/70R17	338324 ○	JPN	M3	3.50	3.50 - 3.75	120	606	200
	リア	S-SLK	200/60R17	338325 ○		H3					
RAIN	フロント	KR189	120/70R17	293413	JPN	WA	3.50	3.50 - 3.75	120	600	200
	リア	KR405	190/60R17	355511		WC					

RAIN

クラス	用途	パターン	タイヤサイズ	商品コード	製造	コンパウンド	標準リム幅 (inch)	許容リム幅 (inch)	トレッド幅 (mm)	外径 (mm)	標準空気圧 (kPa)
MINI	フロント	S-RAIN	100/90-12	356062	JPN	-	2.50	2.15 - 2.75	100	486	180
	リア	S-RAIN	120/80-12	356063		-	2.75	2.50 - 3.50	121	505	190
SMALL	フロント	KR189	95/70R17	351097	JPN	WC	2.50	2.15 - 2.50	88	576	180
	リア	KR389	115/70R17	351098		WC					
MIDDLE	フロント	KR189	110/70R17	303219	JPN	WA	2.75	2.75 - 3.00	110	588	200
	リア	KR389	140/65R17	303221		WA					
BIG	フロント	KR189	120/70R17	293413	JPN	WA	3.50	3.50 - 3.75	120	600	200
	リア	KR405	190/60R17	355511		WC					

◆=鈴鹿8時間耐久ロードレース限定販売です。冬期のタイヤ保管は特にご注意ください。
▲=全日本ロードレース選手権JSB1000クラスおよび、8耐専用タイヤ。DUNLOPレーサーサービスガレージ限定販売品。
○=2026年 ST1000クラス指定タイヤとして地方選手権、全日本ロードレース選手権共有コンパウンドになります。
◎=2026年 ST1000クラス指定タイヤとして地方選手権、全日本ロードレース選手権共有新商品・コンパウンド設定となります。
※=在庫に限りがあります。

●用途別ドライコンディション推奨コンパウンド表 (Small)

クラス	用途	パターン	タイヤサイズ	コンパウンド	ドライコンディション推奨コンパウンド		
					低温	中温	高温
J-GP3	フロント	S-SLK	90/80R17	SOFT	—————	—————	—————
				MED	—————	—————	—————
	リア	S-SLK	115/70R17	HARD	—————	—————	—————
				SOFT	—————	—————	—————

JSB/ST1000/イベント 推奨コンパウンド

TRACK SEVERITY	120/70R17	KR149	200/60R17	S-SLIK
HIGH	M3	M3 & H3	H3	SOFT & MED
MEDIUM	M3	M3 & H3	M3 & H3	SOFT & MED
LOW	M3	M3	M3	SOFT
AIR TEMP	WINTER	SPRING/AUTUMN	SUMMER	WINTER
				SPRING/AUTUMN
				SUMMER

注1) 上記コンパウンドの選択は、あくまでも目安のデータです。気温・コース(μ)・マシン等により目安は変わることがあります。
注2) 仕舞コンパウンドは改良のため、予告なく変更することがあります。

タイヤサイズ表示	200/60 R 17	①	②	③	④
について		① タイヤ幅の呼び(mm)	② 扁平率の呼び(%)	③ 構造/R:ラジアル	④ リム径の呼び(インチ)

タイヤ装着・使用上のご注意

- △警告 ●ロードレース専用タイヤは、一般公道では走行できません。
●チューブレスタイヤには「FOR TUBELESS」または「TUBELESS TYRE APPLICABLE」の表示があるチューブレス専用リムをご使用ください。チューブタイプリムにはチューブをご使用ください。
- △警告 ●チューブレスタイヤやチューブタイプのリムにチューブを入れないで誤って組み込むと走行中に「リムはずれ」や「空気漏れ」が起こる恐れがありますので、リムの刻印を確認してください。
- タイヤサイド部に「回転方向指示矢印(→)」が表示されているタイヤは、その矢印方向に従ってタイヤ組み立てを行い、車両に装着してください。
- △警告 ●タイヤ組み立て時には、タイヤ内外面の異物や傷、およびリムの変形、割れなどの損傷や著しい腐食のないものを使用してください。
- △危険 ●コーン等に刺さる外傷・ゴム割れのあるタイヤは使用しないでください。
- タイヤ組み立て時には、必ずタイヤ組み立て専用の潤滑剤を使用してください。
- △警告 ●タイヤ破損の恐れがありますので、エアコンプレッサーの圧力調節弁は500kPa(5.0kgf/cm²)以下に調整してください。
- △警告 ●タイヤ組み立て時のビードシーティング圧は、300kPa(3.0kgf/cm²)以下とし、これを超える圧は注入しないでください。ビードシーティングとは、タイヤ組み立て時にタイヤの両側のビードがリムのビードシート部に周上均等に載った状態をいいます。
- △危険 ●破損の危険を避けるため、タイヤを安全圏の中に入れてから、安全措置を講じた上、空気を充填してください。
- 前後輪ともバランス調整をしてください。タイヤ組み立てしたタイヤは、シャフトを通して自由に回転させ、静バランスを調整してください。
- △警告 ●タイヤの空気圧は走行前のタイヤが冷えている状態で測定してください。
- ロードレース専用タイヤは慣らし走行の必要はありませんが、タイヤ温度が50~60℃付近まで上がっていないと十分な性能を発揮できませんので、ご注意ください。
- 保管には、雨、熱、油、直射日光および電気火花の発生する器具の近くを避け、タイヤは立てて保管してください。
- 低温下において衝撃を与えたり変形させたりすることにより、トレッド部にクラックが生じる恐れがあります。特に低温時のタイヤ組み立ては避けてください。